

**【参考資料】令和5年度・6年度再生医療情報発信事業 実施内容詳細 <別紙3>**

**■ 令和5年度 報道関係者向け勉強会「再生医療が変える医療の未来（産業化に向けての期待と課題）」**

【1】概 要	<p>「再生医療」への注目が集まるなか、多くの方々へ情報を発信する際に活用いただくため、その重要な担い手である、医療や科学に見識のある記者等の報道関係者に再生医療の正しい理解促進を図るため開催した。</p> <p>心臓の再生医療の第一人者でもある大阪大学院医学系研究科の澤芳樹特任教授より、再生医療の歴史や医療現場における普及状況についてご自身の研究内容を踏まえた解説とともに、大阪・関西万博での発信についてもお話いただいた。また、角膜の再生医療研究の第一人者である大阪大学大学院医学系研究科の西田幸二教授より、眼科領域における再生医療の進展についてお話いただいたほか、再生医療の産業化に向けた動きと課題について提言いただいた。</p>
【2】開 催 日	令和6年1月24日（水曜日） 午後1時～午後2時30分
【3】場 所	TKP大阪淀屋橋カンファレンスセンター カンファレンスルームA （大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル（旧ニチメンビル）B1階）
【4】開催方法	ハイブリッド開催・無料
【5】対 象	国内メディア（「再生医療」に関する報道関係者向け）
【6】参加人数	会場：10名、オンライン：26名
【7】主 催	大阪府
【8】プログラム	
(1)	講演1 「再生医療の現状と未来 心臓領域を中心に」
	◆澤 芳樹氏（大阪大学大学院医学系研究科 特任教授）
(2)	講演2 「再生医療産業化に向けての課題とNakanoshima Qross（中之島クロス）での取り組みについて」
	◆西田 幸二氏（大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学 主任教授）
【9】活動成果	<p>掲載記事数：29件</p> <p>出席報道関係者（一部抜粋・順不同）：</p> <p>朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・日本経済新聞社・産経新聞社・共同通信社・日刊工業新聞社・化学工業日報社・株式会社日経BP・株式会社薬事ニュース社・株式会社じほう 等</p>

■ 令和 6 年度 報道関係者向け勉強会「再生医療が変える医療の未来（アカデミアと企業の現状と課題）」

【1】概 要	<p>「再生医療」への注目が集まるなか、多くの方々へ情報を発信する際に活用いただくため、その重要な担い手である、医療や科学に見識のある記者等の報道関係者へ再生医療の正しい理解促進を図るため開催した。</p> <p>令和6年度はアカデミアに加えて企業の視点からも再生医療の最新状況や将来の可能性を発信いただいた。アカデミアの視点から、パーキンソン病などの神経難病に対するiPS細胞を用いた細胞移植治療研究の第一人者である京都大学iPS細胞研究所（CiRA） 所長 高橋 淳氏より、日本における再生医療研究の状況や課題について、ご自身のご研究内容や研究所における再生医療研究の最新動向を交えた解説とともに、大阪・関西万博での発信についてもお話しいただいた。また、企業の視点からは、再生・細胞医薬事業において、世界初の iPS 細胞由来製品の上市に向けた取り組みを進める住友ファーマ株式会社 上席理事 再生・細胞医薬事業推進室長 永野 智一氏より、再生医療の実用化・製品化に向けた課題と展望についてお話しいただいた。</p>
【2】開 催 日	令和6年12月13日（金曜日） 午後3時00分～午後4時30分
【3】場 所	Nakanoshima Qross 2階 QrossoverLounge 夢 スタジオスペース
【4】開催方法	ハイブリッド開催・無料
【5】対 象	国内メディア（「再生医療」に関する報道関係者向け）
【6】参加人数	会場：13名 オンライン：27名
【7】主 催	大阪府
【8】プログラム	
(1)	講演1 「再生医療最先端研究と産業化に向けての課題」
	◆高橋 淳氏（京都大学 iPS 細胞研究所（CiRA） 所長）
(2)	講演2 「企業が取り組む未来医療の可能性」
	◆永野 智一氏（住友ファーマ株式会社 上席理事 再生・細胞医薬事業推進室長）
(3)	質疑応答
【9】活動成果	<p>掲載記事数：4件</p> <p>出席報道関係者（一部抜粋・順不同）：</p> <p>朝日新聞社・読売新聞社・毎日新聞社・日本経済新聞社・産経新聞社・共同通信社・日刊工業新聞社・化学工業日報社・株式会社日経BP・株式会社薬事ニュース社・株式会社じほう 等</p>

以上